

【東京】

○ フォーラム等事業の開催

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
東京都	千代田区	10月7日	2. 継続	養育家庭体験発表会&講演会「頑張りすぎない子育て～子どものやる気を育てるために～」	養育家庭及び児童虐待防止の広報啓発のため	参加者アンケートより、大変良かったとの評価あり。	児童・家庭支援センター 子ども家庭相談係	03-5298-5521
東京都	新宿区	11月21日	1. 新規	養育家庭(里親)体験発表会の開催及び虐待防止に関する展示、虐待防止に関する展示及び虐待防止啓発グッズの配布	養育家庭(里親)について広く区民等に周知し、養育家庭(里親)を増加させていくため。また、併せて、虐待防止について周知し、関心を高め、虐待を未然に防ぐため。	特になし	子ども総合センター 子ども家庭支援課 総合相談係	03-3232-0674
東京都	新宿区	①9月4日 ②11月21日 ③1月頃を予定	2. 継続	児童虐待防止に関する研修会 ①要保護児童対策地域協議会関係機関向け ②、③関係機関・区民向け	虐待防止に関する研修を行うことにより、関係機関、区民に虐待防止に関する知見を高めてもらうため。	特になし	子ども総合センター 子ども家庭支援課 総合相談係	03-3232-0674
東京都	墨田区	12月14日	2. 継続	区民及び要保護児童対策地域協議会メンバー等を対象に児童虐待防止講演会を開催	児童虐待防止について広く周知し、その防止活動に繋げるため。		子ども・子育て支援部 子育て支援センター	03-5630-6351
東京都	品川区	11月14日	2. 継続	養育家庭体験発表会	実際に里親経験のある方に来ていただき、里親事業の啓発を行う。		子ども家庭支援センター	03-6421-5236
東京都	目黒区	12月1日	2. 継続	児童虐待防止講演会を開催	主に子育て世代の保護者向けに、例年11月に児童虐待防止講演会を開催している。		子育て支援部 子ども家庭支援センター	03-5722-6836
東京都	大田区	9月10日	2. 継続	子ども家庭支援会議(CFS会議)において、弁護士による援助機関向け講演会を開催			子ども家庭支援センター	03-5753-7830
東京都	大田区	12月	2. 継続	児童館長・保育園長向け研修実施			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	中野区	11月13日	2. 継続	養育家庭体験発表会の開催	里親家庭の普及促進を目的として、里親として経験のある方を招き、発表会を行う。		子ども教育子ども家庭支援センター分室	03-3228-7867
東京都	杉並区	11月18日	2. 継続	区役所本庁舎にて児童虐待防止講演会を実施	児童虐待防止月間に合わせた区民への啓発として、主に子育て中の保護者へ子育てのヒント等を学んでもらうことを目的に実施している。	昨年のアンケートでは、子ども自身が人権があり守られていることを自覚できるように親自身が学ぶ必要があると感じた、地域の中で自分に何ができるか考えるきっかけになった等の声が聞かれた。	子ども家庭部管理課 事業係	03-5929-1902
東京都	豊島区	7月16日	2. 継続	要対協関係機関職員向け児童虐待防止の研修(外部講師による講演会)	関係機関職員の児童虐待対応上のスキルアップ	参加した関係機関職員からは、DVと児童虐待への理解を深められたとの感想が多く寄せられた。	子ども家庭部子育て支援課 子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	1月8日	2. 継続	要対協関係機関職員向け児童虐待防止の研修(外部講師による講演会)	関係機関職員の児童虐待対応上のスキルアップ		子ども家庭部子育て支援課 子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	通年	2. 継続	要対協関係機関職員向け児童虐待防止の勉強会(要対協事務局職員が関係機関に出向いて実施)	関係機関職員の児童虐待対応上のスキルアップ	参加した職員からアンケートを回収。概ね理解を深めることができたとの回答。	子ども家庭部子育て支援課 子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	板橋区	11月	2. 継続	区役所のスペースでパネルの展示を行う。	11月の児童虐待防止月間にて、区民に児童虐待防止の周知を行う。		子ども家庭支援センター	03-3579-2656
東京都	練馬区	11月28日	2. 継続	練馬区民・産業プラザ(ココネリ)で子育てに関する講演会(区主催)と養育家庭体験発表会(都共催)を開催。	同時開催することにより、児童虐待防止および家庭養護の推進を図ることが目的。	2つのイベントを通じ、子どもの権利を改めて確認、認識を深めることができ、有意義な機会となった等の意見をいただいた。	子ども家庭部練馬子ども家庭支援センター 地域連携係	03-3993-8155
東京都	葛飾区	通年	2. 継続	ハローベビー教室にて、体罰防止の講座実施。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課 母子保健係	03-3602-1387
東京都	葛飾区	通年	2. 継続	関連団体へ虐待防止に関する講座の開催。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課 子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	11月9日	2. 継続	東京都との共催事業である「子育て講演会&養育家庭体験発表会」の開催。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課 子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	江戸川区	11月5日	2. 継続	実務者会議(全体会議)にて、児童虐待の研修を行う	実務者レベルで、児童虐待の知識の向上を目指す	特になし	子ども家庭部相談課 総合相談係	03-5678-1810
東京都	八王子市	11月1日～11月30日	2. 継続	女性に対する暴力防止キャンペーンパネル展において児童虐待防止パネルを出展	児童虐待防止の意識啓発のため		子ども家庭支援センター	042-656-8225
東京都	八王子市	11月～12月	2. 継続	市内図書館(4か所)で児童虐待防止に関するテーマ展示(図書等の紹介)	児童虐待防止の意識啓発のため		子ども家庭支援センター	042-656-8225
東京都	青梅市	1月28日	2. 継続	市施設において、立川児童相談所と共催で児童虐待防止に関する講演会を開催し、併せてリーフレット等を配布			子ども家庭部 子ども家庭支援課	0428-22-1111内線2391
東京都	府中市	①11月13日 ②12月4日 ③12月(予定)	2. 継続	①関係機関向け研修会(子ども家庭支援センター内で実施) 講師: 松戸市立総合医療センター小児科医長 小橋孝介医師 ②養育家庭体験発表会(子ども家庭支援センター内で実施) ③子育て支援講演会(オンライン開催) 講師: 一般社団法人チャイルドフッドラボ 藤原里美氏	①関係機関の意識向上のため、児童虐待防止に関するテーマで研修会を実施している。 ②多摩児童相談所と共催で、養育家庭体験発表会を開催している。 ③関係機関や市民の意識向上のため、発達障害等をテーマに講演化を実施している。	いずれの研修会・講演会も、保育所、学校等の関係機関の職員や、テーマに関心のある市民が参加しており、児童虐待防止に関する関係機関、市民の意識の向上につながると思われる。	子ども家庭部子ども家庭支援課 子ども家庭支援センター	042-354-8700
東京都	調布市	9月～11月	2. 継続	関連性の高い児童虐待とDVを一体的に啓発するため、紫とオレンジのイメージカラーを使ったパネルを文化会館来館者に工作して貰い、それらを用いてオブジェを作成し展示する。	児童虐待防止、DV防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課 子ども政策係(男女共同参画推進課主管)	042-481-7105
東京都	町田市	11月24日～11月27日	2. 継続	市庁舎で児童虐待防止啓発の広報活動を実施予定	児童虐待防止の啓発と機運醸成	特になし	子ども生活部子ども家庭支援センター	042-724-4419
東京都	福生市	1月	2. 継続	要保護児童対策地域協議会主催講演会 福生市もくせい会館	児童虐待や子育てに関する講演会を開催		子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	狛江市	2020/11/13(予定)	2. 継続	有識者を講師に招いた講演会	虐待が深刻化する前の早期発見・早期対応に向けて、関係機関同士のネットワークの強化		子ども家庭部子ども発達支援課 子ども発達支援係	03-5761-9012
東京都	東大和市	令和2年11月5日	2. 継続	「やさしい気持ちになろう」をテーマとして子育て講座を実施。	保護者が抱えている目に見えないストレスを講座を通して解消してもらうことで、虐待につながらない楽しい子育てを目指して実施する。		子育て支援部子育て支援課 子ども家庭支援センター	042-565-3651
東京都	多摩市	11月6日13:00～14:40	2. 継続	市立公民館にて児童虐待防止啓発講演会の開催	児童虐待防止の啓発と機運醸成		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	11月4日14:00～15:30	2. 継続	養育家庭に関する一般向け講座、養育家庭による体験発表、児童相談所の機能と役割の紹介	養育家庭制度を広く市民に周知することにより、養育家庭(里親)の新規開拓と養育家庭(里親)に関わる人の理解と協力を促進するために実施する。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	羽村市	11月5日	2. 継続	講演会「地域の大人が子ども達にできること」生涯学習センターゆとりぎ小ホール	児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応、地域での連携強化を目的とする。	通告は告発ではなく、支援に繋げるきっかけと理解できた等	子ども家庭部子育て相談課 子ども家庭支援センター係	042-578-2882
東京都	羽村市	10月31日、11月1日	2. 継続	産業祭でのポスター、チラシの配布	児童虐待防止の周知・啓発、虐待防止講演会の周知		子ども家庭部子育て相談課 子ども家庭支援センター係	042-578-2882
東京都	瑞穂町	11月28日	1. 新規	児童虐待防止講演会	日頃から児童や保護者と接することが多い保育園等の職員に対し、児童虐待の基礎知識と我々ができることを改めて考えいただき、児童虐待が疑われる時にどのように対応すべきかなど、適切な対応ができるように講演会を実施する。	特になし	福祉部 子育て支援課 子ども家庭支援センター係	042-568-0051

○ 啓発物品作成・配布

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
東京都	-	11月	2. 継続	児童虐待防止対策(全庁PT)を通じた啓発物品配布等の普及啓発活動			福祉保健局 少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	千代田区	11月1日～12月10日	2. 継続	虐待防止(児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待、女性に対する暴力防止などすべての虐待防止を目的としたもの)に関するチラシ、ポスターの掲示及び配布。啓発品(ダブルリボンバッジ)を区幹部及び関係課職員が着用。	昨年からの4課合同の虐待防止キャンペーンを実施。共通のチラシやポスターを作成し配布した。今年度は加えてダブルリボンバッジを職員等が着用し周知啓発に寄与する。	区の様々な部署で一斉に周知を図り効果があった。	児童・家庭支援センター 子ども家庭相談係	03-5298-5521
東京都	千代田区	11月1日～12月10日	1. 新規	区内の児童や区民向けに「千代田区虐待防止強化期間啓発めいし」を啓発物品やチラシと共に配布し作品を各施設でコーナーを設け掲示。	昨年までは駅での街頭キャンペーンを実施し児相・警察・民間企業・大学などと連携し実施してきた。新型コロナウイルスの対応で街頭キャンペーンが中止になり、その代替として、従来実施してきた区民からのメッセージの掲示を一歩進めて、区全体で取り組める虐待防止の塗り絵を区内の様々な施設で実施掲示し、周知を図る。		児童・家庭支援センター 子ども家庭相談係	03-5298-5521
東京都	中央区	11月	2. 継続	作成・配布(区施設等の窓口)	月間に伴い児童虐待防止の広報・啓発をすることで虐待に関する興味・認識を向上させる	特になし	福祉保健部子ども家庭支援センター相談担当係長	03-3534-2103

東京都	中央区	11月	2. 継続	「相談してね」カード作成・配布(区立小・中学校)	児童が気軽に相談できる連絡先をカードタイプにし、身に着けられるようにする	万が一の時、役に立った児童本人から相談電話があった	福祉保健部子ども家庭支援センター相談担当係長	03-3534-2103
東京都	中央区	7月	2. 継続	「子どもを健やかに育てるために～愛の鞭ゼロ作戦～(国)」のリーフレットの作成・配布(区内保育園・区立幼稚園・区立小中学校に在籍園児、児童の保護者)	保護者の体罰等に関する認識度を向上させる	夏休み前に周知することで、保護者の体罰等に対する感心や抑止力に繋がったと思われる	福祉保健部子ども家庭支援センター相談担当係長	03-3534-2103
東京都	港区	10月	2. 継続	「子ども相談ねつ」のマスクケース配布	小中学生に相談窓口をマスクケースに掲載し配布することで、いじめ・児童虐待防止の啓発を行います。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090
東京都	新宿区	11月9日～	1. 新規	区内児童館、子ども家庭支援センター等の区内施設において児童虐待防止啓発物品を配布	虐待防止について広く区民等に周知し、関心を高めるため。	特になし	子ども総合センター子ども家庭支援課総合相談係	03-3232-0674
東京都	新宿区	10月下旬～11月	2. 継続	新宿区児童虐待防止啓発パンフレットの作成及び区内幼稚園、保育園、小学校、中学校への配布	虐待防止に関するパンフレットを児童、生徒や保護者に配布し、相談窓口機関を周知するため。	特になし	子ども総合センター子ども家庭支援課総合相談係	03-3232-0674
東京都	文京区	5月4日～5月11日	2. 継続	区設掲示板に児童虐待防止啓発ポスターを掲示	児童虐待防止を啓発するため、区内掲示板にポスターを掲示する。	特になし	子ども家庭部子ども家庭支援センター	03-5803-1894
東京都	文京区	11月2日～11月9日	2. 継続	区設掲示板に児童虐待防止啓発ポスターを掲示	児童虐待防止を啓発するため、区内掲示板にポスターを掲示する。		子ども家庭部子ども家庭支援センター	03-5803-1894
東京都	文京区	11月10日～11月11日	2. 継続	企画展で児童虐待防止啓発ポスターやパネルを展示、児童虐待防止啓発冊子を配布	児童虐待防止を啓発するため、児童虐待防止月間にあわせ、11月に企画展を実施する。		子ども家庭部子ども家庭支援センター	03-5803-1894
東京都	台東区	11月2日～13日	2. 継続	オレンジリボン活動の周知を図る展示物、メッセージカードを作成し、区役所1階にて展示。啓発物品の配布。	児童虐待防止の啓発を効果的に行えるよう、継続して展示している。		区民部子ども家庭支援センター	03-5824-2571
東京都	台東区	11月16日～28日	2. 継続	オレンジリボン活動の周知を図る展示物、メッセージカードを作成し、男女平等参画課と共催で生涯学習センターにて展示。啓発物品の配布。	児童虐待防止の啓発を効果的に行えるよう、継続して展示している。		区民部子ども家庭支援センター	03-5824-2571
東京都	台東区	9月上旬～10月末	2. 継続	子ども家庭支援センター(4か所)にてメッセージカードの記入・展示。(メッセージカードは庁舎・生涯学習センターのキャンペーンに展示)	児童虐待防止の周知を効果的に行えるよう、継続して展示している。		区民部子ども家庭支援センター	03-5824-2571
東京都	台東区	通年	1. 新規	虐待予防啓発事業(児童向け)啓発ポスターを作成中。学校に掲示し小学生と中学生に対する虐待予防啓発を行う予定。	コロナウイルス感染防止のため、学校訪問型の啓発活動ができないため、ポスターを作成中。		区民部子ども家庭支援センター	03-5824-2571
東京都	台東区	通年	1. 新規	虐待予防啓発リーフレットの配布:保健所の乳幼児健診や学校などの関係機関へ配布	健診時にリーフレットの配布をすることで、もれなく周知できるため配布を開始。		区民部子ども家庭支援センター	03-5824-2571
東京都	墨田区	7月	2. 継続	児童虐待防止リーフレット(児童向け)を区内公立小中学校を経由して、小学4年生及び中学1年生を対象に配布。	平成28年の児童福祉法の改正により「子どもが権利の主体である」事が明記されたことを受け、子ども自身が虐待から身を守るよう相談窓口等を周知するため。	リーフレットを見ての児童からの相談来所実績有。	子ども・子育て支援部子育て支援総合センター	03-5630-6351
東京都	墨田区	11月	2. 継続	児童虐待防止マニュアル(関係機関用)の作成及び配布	要保護児童対策地域協議会メンバーを主に、児童虐待防止のポイントなどを周知し、連携強化を図り、虐待防止に繋げるため。		子ども・子育て支援部子育て支援総合センター	03-5630-6351
東京都	江東区	7月	2. 継続	・毎年7月の夏休み前に、区内の小学校で3年生と6年生に向けて児童虐待の通告(相談)窓口を記載したオリジナルのクリアファイルを作成し配布をしている。	平成22年度より、児童自らSOSを出すことを目的に実施している。	・特になし	子ども未来部子ども家庭支援課養育支援係	03-3647-4408
東京都	江東区	11月	2. 継続	・毎年11月に区役所ロビーに於いて、児童虐待防止のパネル展示を行うと共に、周知活動を実施する予定。	・区民に対して、児童虐待防止・通告相談窓口の周知を図るため。	・特になし	子ども未来部子ども家庭支援課養育支援係	03-3647-4408
東京都	江東区	11月	2. 継続	・毎月11月に要対協の関係機関に東京都の児童虐待防止のポスター約1,500部を配布し周知を図るよう依頼予定。	・区民に対して、児童虐待防止・通告相談窓口の周知を図るため。	・特になし	子ども未来部子ども家庭支援課養育支援係	03-3647-4408
東京都	品川区	11月2日～11月13日	2. 継続	懸垂幕設置	区民へ虐待防止の周知		子ども家庭支援センター	03-6421-5236
東京都	目黒区	11月以降	1. 新規	児童虐待や子育てに関する総合相談先を記入した啓発グッズを配布	児童虐待の未然防止と児童虐待やDV被害者が速やかに相談先につながるための相談機関を区民に広く周知する。		子育て支援部子ども家庭支援センター	03-5722-6836
東京都	大田区	11月18日～11月30日	2. 継続	区役所本庁舎に横断幕を掲揚			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	大田区	11月18日～11月30日	2. 継続	区役所本庁舎に懸垂幕を掲揚			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	大田区	11月1日～11月30日	2. 継続	調布地域庁舎、蒲田地域庁舎に懸垂幕を掲揚			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	大田区	11月18日～11月30日	2. 継続	蒲田地域庁舎に懸垂幕を掲揚			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	大田区	11月1日～11月30日	2. 継続	特別出張所、区役所本庁舎、地域庁舎に昇り旗を設置			子ども家庭支援センター	03-5753-1153
東京都	大田区	11月1日～11月30日	2. 継続	保育園、児童館に横断幕を掲揚			子ども家庭支援センター	03-5753-1153
東京都	大田区	11月	2. 継続	児童虐待防止啓発用パンフレット、クリアファイル(一般向け、学校向け)、ウェットティッシュ、紙風船・巻取りセットを作成し、イベント等で配布			子ども家庭支援センター	03-5753-1153
東京都	世田谷区	11月	2. 継続	庁有車への児童虐待防止普及啓発マグネットの貼付によるPR	マグネットを貼付した庁有車が区内を走行することをとおして、区民への児童虐待問題に対する意識醸成を図るため。		子ども・若者部児童相談支援課	03-6304-7731
東京都	世田谷区	通年	2. 継続	児童虐待防止、支援・相談先等に関するリーフレット、カードの配布	一般区民や関係機関が児童虐待通告や子育て相談を行いたい場合の相談窓口の周知を図るため。		子ども・若者部児童相談支援課	03-6304-7731
東京都	中野区	11月	2. 継続	区役所本庁舎において児童虐待防止推進月間の横断幕を掲揚	児童虐待防止推進月間の普及啓発を目的として、区役所本庁舎において、11月1日から31日まで、児童虐待防止推進月間の横断幕を掲揚する。		子ども教育部子ども家庭支援センター分室	03-3228-7867
東京都	杉並区	4月～3月	2. 継続	児童虐待防止啓発リーフレット「ひとりて抱え込まないで」を、主に4か月健診受診の保護者に配布	子育てをスタートした保護者への育児支援と虐待予防、区の相談先の案内等を目的とし、保健センターを通じて配布している。		子ども家庭部管理課事業係	03-5929-1902
東京都	杉並区	4月～3月	2. 継続	東京都作成の「体罰によらない子育てハンドブック」リーフレットを1歳6か月健診受診の保護者に配布	叩かない・怒鳴らない子育てをするための具体的な子どもへの対応方法、相談先の案内等を目的とし、保健センターを通じて配布している。		子ども家庭部管理課事業係	03-5929-1902
東京都	杉並区	11月中旬	2. 継続	杉並児童相談所、荻窪警察と一緒に荻窪駅前にてオレンジリボンキャンペーンを実施	児童虐待防止月間における啓発を目的とし、東京都作成の啓発グッズ等を配布している(杉並児童相談所主催)。		子ども家庭部管理課事業係	03-5929-1902
東京都	豊島区	11月10日	2. 継続	豊島区児童虐待防止街頭キャンペーン(児相を含む豊島区要対協のメンバーにより、西武池袋線椎名町駅等において啓発物品の配布及び啓発アナウンスを実施)	児童虐待防止の啓発目的(今年度はダブルリボンを配布予定)		子ども家庭部子育て支援課子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	11月中	2. 継続	区職員のオレンジリボンの配布および着用周知	児童虐待防止の啓発目的		子ども家庭部子育て支援課子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	年度内	2. 継続	区立小学校4年生から中学3年生を対象とした相談カードを配布(予定)	相談機関名と連絡先の周知		子ども家庭部子育て支援課子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	北区	11月7日	2. 継続	児童相談所と共催で「養育家庭体験発表会」を開催する。リーフレット等を配布予定			子ども未来部子ども家庭支援センター	03-3914-9565
東京都	北区	11月8日	2. 継続	多様性社会推進課と共催で「DV理解基礎講座」を開催する。リーフレット等を配布予定			子ども未来部子ども家庭支援センター	03-3914-9565
東京都	北区	11月9日	2. 継続	「まちかどキャンペーン」として王子地区商店街にて民生委員、学生等と協働で、リーフレット等の配布を行う			子ども未来部子ども家庭支援センター	03-3914-9565
東京都	北区	11月11日	2. 継続	「まちかどキャンペーン」として赤羽地区商店街にて民生委員等と協働で、リーフレット等の配布を行う			子ども未来部子ども家庭支援センター	03-3914-9565
東京都	北区	11月1日～11月30日	2. 継続	関係機関(行政機関、幼稚園等)にリーフレット等を配布			子ども未来部子ども家庭支援センター	03-3914-9565
東京都	板橋区	11月以降	2. 継続	板橋区の子どもの保護者に向けて児童虐待防止のリーフレットを、小学校高学年から中学生に向けて児童虐待防止のカードを配付。	保護者に対して児童虐待に対する意識を高めてもらう目的で配付し、小学校高学年から中学生に向けては相談先の提供をしている。		子ども家庭支援センター	03-3579-2656

東京都	練馬区	10月・11月	2. 継続	・相談窓口を案内する啓発カードを13万枚作成し、小中学校を通じ全児童・生徒に、また児童館、保健相談所等の子ども家庭が利用する区の施設などの窓口を通じ配布。 ・啓発グッズを作成し講演会参加者に配布	・児童虐待の予防・防止を図るため、これまでも相談窓口を案内する啓発リーフレット(A5)を作成・配布してきたが、昨年度から携帯しやすいカード型に変更している。 ・より理解を深めていただけるよう講演会テーマに関する資料も併せて配布。	・啓発カードを受け取った児童生徒本人から、複数件の相談が入った。	こども家庭部練馬子ども家庭支援センター地域連携係	03-3993-8155
東京都	江戸川区	10月～11月	2. 継続	就学児健康診断にて、児童虐待防止のポケットティッシュを配布	公立小学校に入学するすべての児童に広報啓発を行う	特になし	子ども家庭部相談課総合相談係	03-5678-1810
東京都	八王子市	11月1日～11月30日	2. 継続	市内事務所(出張所)にてオレンジリボンの配布	児童虐待防止推進月間の市民への周知		子ども家庭支援センター	042-656-8225
東京都	八王子市	4月～10月	2. 継続	オレンジリボンの作成	児童虐待防止の意識啓発のため	年間7,000を作成	子ども家庭支援センター	042-656-8225
東京都	立川市	10月4週～5週	2. 継続	市内6か所の地区民生委員児童委員協議会の10月の会議に参加。行政関係等の事業報告のなかで時間をいただき、当該年度の標語、児童虐待に関するトピックの紹介、発見から通告までの説明などをします。	要保護児童対策地域協議会においても主任児童委員を中心に児童虐待防止における地域の要として活動している民生委員・児童委員へのPRを長年実施する。併せて啓発物品を配布し、児童虐待防止の理解を深めてもらうとともに、日頃の活動に対して直接感謝できる良い機会となっている。	民生委員・児童委員の皆様には年間を通じて地域のアンテナとして児童の見守りとして活動してもらっており、その活動への感謝と虐待対応の意義や方法を再確認することでスムーズな連携ができるようになる。	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	立川市	11月16日～18日	1. 新規	本庁舎1階の多目的プラザでのパネル展示。①児童虐待防止に関するポスター(オレンジリボン運動、東京おせっかい化計画、体罰によらない子育て)の掲示、パンフレット、啓発物品の配布。②養育家庭に関するポスター、リーフレット、啓発物品の配布 ③子ども家庭支援センターを紹介するパンフレット、サービスのパンフレット、傾聴ボランティアのパンフレットの配布 ④新型コロナウイルス感染症による新しい日常でストレスが高まっている状況でストレスに対する対応の仕方の参考となるよう、専門機関等がまとめた資料の掲示(出展明示)	例年は立川駅周辺で児童相談所と協働して一般市民に向けたキャンペーン活動を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から啓発物品等を手渡し、個別に児童虐待防止への協力を呼びかけることのリスク回避するため中止。代わりに多くの市民の目に触れる本庁舎のスペースにてパネル展示を実施することにした。	本庁舎でのパネル展示は相当数の市民に見てもらえることができると期待している。	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	武蔵野市	11月～12月	2. 継続	市内関係機関(養育協参加機関)に、子ども家庭支援センターのパンフレットを配布し、市民への配布依頼。			子ども家庭支援センター	0422-60-1850
東京都	府中市	11月	2. 継続	庁内窓口に児童虐待防止普及啓発POP設置	児童虐待防止推進月間の周知のため、三角POPを作成し、各課窓口に設置を依頼している。	三角POPは窓口を利用する市民の目に付きやすい物品であるため、児童虐待防止推進月間の周知につながるかと考えられる。	子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-354-8700
東京都	府中市	11月	2. 継続	学校、保育所、幼稚園へ虐待防止マニュアルダイジェスト版配布	児童虐待の対応の流れや発見のポイント等について、関係機関への周知を図るため、虐待防止マニュアルのダイジェスト版を作成し、配布している。	虐待防止マニュアルのダイジェスト版は、実際に児童と接する職員にも見てもらいやすいツールとして、今後も活用していく。	子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-354-8700
東京都	調布市	通年	2. 継続	市役所3階の壁面に、「子ども虐待防止のオレンジリボン」としてオレンジリボンの掲示物を貼る。	児童虐待防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課子ども政策係	042-481-7105
東京都	日野市	11月	2. 継続	オレンジリボンを市役所職員で着用	市民に対し児童虐待防止啓発を実施		子ども家庭支援センター	042-599-6670
東京都	日野市	11月	1. 新規	体罰禁止のマグネットシートを庁用車に貼り付け	市民に対し児童虐待防止啓発を実施		子ども家庭支援センター	042-599-6670
東京都	日野市	11月	2. 継続	児童虐待防止にかかるとパネル展示	市民に対し児童虐待防止啓発を実施		子ども家庭支援センター	042-599-6670
東京都	日野市	11月	1. 新規	児童虐待啓発動画の作成	児童に対する児童虐待啓発の実施		子ども家庭支援センター	042-599-6670
東京都	日野市	11月	1. 新規	児童向け啓発カードの作成	児童に対する児童虐待啓発の実施			
東京都	東村山市	11月1日～11月30日	1. 新規	市民向けの東村山市「体罰などによらない子育てについて」小冊子を作成し、配布する。	目的:子育て世代に「体罰などによらない子育て」を普及させるため。		子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-393-5111
東京都	国分寺市	5月	2. 継続	「子ども相談専用電話」のカード配布	国分寺市子どもいじめ虐待防止条例に基づき、子ども相談専用電話の設置と利用を案内。小中学校前の全児童生徒に配布	「カードを見て電話をしています」という電話をいただいております。	子ども家庭部子育て相談室	042-572-8138
東京都	国立市	11/19～11/30	2. 継続	市役所ロビー			子ども家庭支援センター	042-573-0192
東京都	国立市	11/20～30	2. 継続	東京都のイメージキャラクター「OSEKAI君」(着ぐるみ)の練り歩きを展示会場等で行う			子ども家庭支援センター	042-573-0192
東京都	国立市	11月	2. 継続	ダブルリボンの缶バッジを作成し配布			子ども家庭支援センター	042-573-0192
東京都	福生市	7月	1. 新規	市内小中学校全生徒へ子ども家庭支援センターの相談カードを作成し配布			子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	福生市	11月	2. 継続	乳幼児総合相談市内子育てサロン	市内子育てサロンを巡回し、子ども家庭支援センターの案内、虐待防止グッズの配布や啓発活動を行う		子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	狛江市	11月2日～13日	2. 継続	市役所庁舎にパネルを展示	保護者と地域住民に向けた児童虐待の防止と体罰によらない子育てに関する周知・啓発		子ども家庭部子ども発達支援課子ども発達支援係	03-5761-9012
東京都	東大和市	令和2年11月1日～11月30日	2. 継続	オレンジリボンキャンペーンパネルの本庁舎ロビー展示、啓発物品の配布	市民の利用が多いロビーでパネル展示をすることで広く児童虐待防止について周知を図ることを目的として実施する。		子育て支援部子育て支援課子ども家庭支援センター	042-565-3651
東京都	多摩市	10月中旬～11月中旬	2. 継続	児童虐待防止に関するパネル展示、チラシ類の配布、地域の子どもたち・大人作成のメッセージカードの展示、推薦図書、ブックリストの配布 実施場所:市役所ロビー、市立児童館、市立図書館、市立公民館	児童虐待について市民に周知するとともに、児童虐待を防止するために理解協力をしてもらいたいことを、対象(地域、子ども、保護者)ごとに伝える。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	10月後半	2. 継続	虐待に悩む子ども自身が相談できる電話番号を記載した「こどもSOSカード」を公立小学4年生、公立中学1年生に配布	児童に対し、困ったときに助けを求められるよう、相談先を伝える。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	通年	2. 継続	市内商店街に、児童虐待防止に関するキャッチコピー等を載せた看板を設置	児童虐待防止について多くの市民に関心を持ってもらう。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	通年	2. 継続	市作成リーフレットを市役所・公共施設等に設置、市民及び関係機関に配布	児童虐待防止について多くの市民に関心を持ってもらう。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	11月	2. 継続	オレンジリボンの入ったのぼり旗を作成し、公共機関にて設置	児童虐待防止について多くの市民に関心を持ってもらう。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	羽村市	11月	2. 継続	国や都が作成した啓発ポスター等の配布・掲示	児童虐待防止推進月間の周知、児童虐待の未然防止		子ども家庭部子育て相談課子ども家庭支援センター係	042-578-2882
東京都	西東京市	5月中	1. 新規	市内小・中学校(27校)を学年ごとに関し、全学年に配布。	市立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、子ども家庭支援センターが考案したチラシを配布し、困った時の相談先である「子ども家庭支援センターのどか」や他の関係機関を周知する。		子育て支援部子ども家庭支援センター	042-425-3303
東京都	西東京市	9月1日	1. 新規	市内の郵便局、銀行、コンビニエンスストアに「気になる子どもを見つけたらお分りの範囲でご連絡をお願いします!」の啓発チラシを配布。	子どもを守る地域ネットワーク巡回支援事業の一環として、児童虐待防止と早期発見を図るため、市内店舗の従業員控室等に掲示の協力依頼。	セブイレブンジャパンの総合渉外部西東京ゾーン行政担当部署から、市内全店舗にまとめてチラシを配布する旨協力依頼あり。	子育て支援部子ども家庭支援センター	042-425-3303
東京都	奥多摩町	11月	2. 継続	児童虐待防止についてリーフレットを作成全戸配布	例年実施 児童虐待防止について啓発		福祉保健課	0428-85-2611
東京都	八丈町	11月2日～11月30日	2. 継続	町役場ギャラリーで特設コーナーを設けて掲示。			八丈町子ども家庭支援センター	04996-2-4300

○ 広報誌、テレビ等で周知

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
東京都	-	11月	2. 継続	児童虐待防止推進月間中の集中広報活動(予定)			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	-	11月	2. 継続	東京都公式ホームページ児童虐待防止推進月間告知 バナー広告			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	-	11月	2. 継続	広報紙 広報東京「児童虐待防止推進月間」告知			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090

東京都	-	11月	2. 継続	広報誌 月間福祉保健局「児童虐待防止推進月間」告知			福祉保健局 少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	新宿区	11月21日	1. 新規	四谷区民ホールで合同養育家庭(里親)体験発表会を行う。個別相談会、虐待防止関連パネル掲示、虐待防止啓発用チラシと物品配布を行う。	児童虐待防止推進月間と里親月間の一環として、新宿区と東京都子供家庭総合センターの共催による「新しい日常」に則した啓発活動を実施する。		子ども総合センター 子ども家庭支援課 総合相談係	03-3232-0675
東京都	千代田区	11月1日～ 12月10日	2. 継続	10月20日号の区広報誌で虐待防止(児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待、女性に対する暴力防止などすべての虐待防止を目的としたもの)に関する区の施策を紹介。さらに映像広報で各相談先を周知する映像を上映する。	区民に虐待防止に係る施策・取組に対する理解を図るため、例年10月に広報誌の特設コーナーで関連の施策をピックアップして紹介している。加えて今年は映像工法での情報上映を実施する。	区との取組や利用方法等が分かりやすく記載してあるため、よかった。	児童・家庭支援センター 子ども家庭相談係	03-5298-5522
東京都	中央区	11月	2. 継続	区のおしらせ・ホームページ、集合ポスターに掲載	月間に伴い児童虐待防止の広報・啓発をすることで虐待に関する興味・認識を向上させる	特になし	福祉保健部子ども家庭 支援センター相談担当係 長	03-3534-2103
東京都	港区	7月	1. 新規	区広報誌に児童虐待防止のメッセージコラムを掲載	有識者に執筆依頼し、広報誌に児童虐待防止に関するメッセージを掲載し、児童虐待防止の啓発をしました。	特にありませんでした。	子ども家庭支援部子ども 家庭支援センター 地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	10月	1. 新規	広報トピックス「児童虐待防止推進月間」	10月21日から10日間、区の広報番組の中で、児童虐待防止についての啓発を行います。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども 家庭支援センター 地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	11月	1. 新規	区有施設のデジタルサイネージでの児童虐待防止啓発	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区民まつり等のイベントが中止になり、区民への啓発の手段として区有施設のデジタルサイネージを利用することにしました。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども 家庭支援センター 地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	11月	1. 新規	区有施設のデジタルサイネージでの児童虐待防止啓発	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区民まつり等のイベントが中止になり、区民への啓発の手段として区有施設のデジタルサイネージを利用することにしました。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども 家庭支援センター 地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	11月	2. 継続	広報みなと「児童虐待防止推進月間」	区広報みなと11月1日号に児童虐待防止推進月間についての記事を掲載し児童虐待防止の啓発を行います。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども 家庭支援センター 地域連携担当	03-6400-0090
東京都	新宿区	11月5日	2. 継続	区広報誌において、「児童虐待防止推進月間」の周知及び児童虐待防止に関する区の施策・連絡先を紹介	虐待防止推進月間について広く区民に周知し、虐待防止への関心を高め、虐待を未然に防ぐため。	特になし	子ども総合センター 子ども家庭支援課 総合相談係	03-3232-0674
東京都	新宿区	10月～11月	1. 新規	区内大型ビジョンと区役所本庁舎デジタルサイネージでの児童虐待防止及び養育家庭に関する動画放映	虐待防止と養育家庭(里親)について広く区民等に周知し、関心を高めるため。	特になし	子ども総合センター 子ども家庭支援課 総合相談係	03-3232-0674
東京都	文京区	10月25日	2. 継続	区広報紙に児童虐待防止啓発記事を掲載	児童虐待防止を啓発するため、区広報紙に啓発記事を掲載する。		子ども家庭部子ども家庭 支援センター	03-5803-1894
東京都	台東区	11月5日号	2. 継続	広報紙(広報たいとう)による啓発(児童虐待防止月間の啓発)	毎年オレンジリボンキャンペーンの記事を掲載しており、数年に一回表紙への掲載を行い、広く区民に啓発している。		区民部子ども家庭支援 センター	03-5824-2571
東京都	台東区	11月中	2. 継続	HPによる啓発(児童虐待防止月間の啓発)	児童虐待防止の啓発を効果的に行えるよう、継続して掲載している。		区民部子ども家庭支援 センター	03-5824-2571
東京都	台東区	11月中	2. 継続	ケーブルテレビにて児童虐待防止月間のお知らせを放送予定。	ニュース番組の最後に紹介		区民部子ども家庭支援 センター	03-5824-2571
東京都	墨田区	11月1日	2. 継続	区広報誌において児童虐待防止の啓発について掲載	区民に定着している区の広報誌に掲載することによる児童虐待の啓発。		子ども・子育て支援部 子育て支援総合センター	03-5630-6351
東京都	江東区	11月	2. 継続	・11月1日付区報に児童虐待防止推進月間の記事を掲載する予定。また、区ホームページ等で児童虐待防止推進月間の周知を図る予定。	・区民に対して、児童虐待防止・通告相談窓口の周知を図るため。	・特になし	子ども未来部子ども家庭 支援課養育支援係	03-3647-4408
東京都	江東区	通年	2. 継続	・毎月不定期に、区報(全戸配布)の欄外へ児童虐待の通告(相談)窓口の電話番号を記載した記事に掲載している。	・区報を活用して、区民に対して児童虐待防止の周知を図っている。	・特になし	子ども未来部子ども家庭 支援課養育支援係	03-3647-4408
東京都	江東区	通年	2. 継続	・本区が発行する子育てハンドブックに児童虐待に関する通告(相談)先を記載したページを掲載している。	・子育て家庭に対して、児童虐待防止・通告相談窓口の周知を図るため。	・特になし	子ども未来部子ども家庭 支援課養育支援係	03-3647-4408
東京都	品川区	10月21日	2. 継続	広報しながわにて、「虐待防止月間について、オレンジリボンの説明、養育家庭体験発表会の説明、しながわ見守りホットラインについて」を掲載	虐待防止月間を機に、区民に啓発を行う。		広報広聴課	03-3777-1111
東京都	目黒区	11月5日	2. 継続	区報・HPにより児童虐待防止に関する区の啓発事業等の紹介	区民に児童虐待防止と子家センのサービスの周知を図るため、例年この時期に掲載している。		子育て支援部 子ども家庭支援センター	03-5722-6836
東京都	大田区	11月11日	2. 継続	大田区報11月11日号特集記事			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	大田区	11月1日～ 11月30日	2. 継続	区役所本庁舎にデジタルサイネージを掲出			子ども家庭支援センター	03-5753-1153
東京都	大田区	11月1日～ 11月30日	2. 継続	児童虐待防止推進月間の啓発(大田区ホームページへの記事掲載)			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	大田区	11月	2. 継続	地域力推進会議での広報			子ども家庭支援センター	03-5753-1153
東京都	大田区	11月17日～ 11月30日	2. 継続	児童虐待防止啓発ポスターの掲出について(区設掲示板)			子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	渋谷区	11月	2. 継続	区広報誌で児童虐待防止推進月間について周知	区民に児童虐待防止に対する理解を図るため		子ども家庭部子ども家庭 支援センター	03-3463-3748
東京都	中野区	11月	2. 継続	中野区報に特集ページを掲載	児童虐待防止推進月間の普及啓発を目的として、区報11月5日号に児童虐待防止推進月間の特集ページを掲載する。		子ども教育部子ども家庭 支援センター分室	03-3228-7867
東京都	杉並区	10月1日	2. 継続	区広報・HPにより児童虐待防止の啓発記事を掲載	児童虐待防止月間に合わせた区民への啓発として、子育て中の保護者への相談先の案内、児童虐待の相談・連絡先の周知等を目的に実施している。		子ども家庭部 管理課事業係	03-5929-1902
東京都	豊島区	5月初め～5月末	1. 新規	コロナ禍の保護者向け及び子ども向けの児童虐待防止のための動画をSNSにて配信	緊急事態宣言下で保護者及び子どもそれぞれに相談先を案内するため		子ども家庭部子育て支 援課子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	11月1日	2. 継続	広報としまに児童虐待防止街頭キャンペーン及び児童虐待防止月間の記事掲載	児童虐待防止の啓発目的		子ども家庭部子育て支 援課子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	11月7日	2. 継続	養育家庭体験発表会(区役所本庁舎1階としまセンタースクエア)	里親(養育家庭)に関する普及啓発目的		子ども家庭部子育て支 援課子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	12月10日	2. 継続	区民向け児童虐待防止講演会	児童虐待防止の啓発目的		子ども家庭部子育て支 援課子どもの権利G	03-6858-2302
東京都	豊島区	通年	1. 新規	東西子ども家庭支援センターより、ツイッター・インスタグラムにて各種事業に関する情報発信	子育て支援事業および児童虐待防止に資する事業の情報提供		・東部子ども家庭支援セ ンター ・西部子ども家庭支援セ ンター	03-5980-5275 03-5966-3131
東京都	豊島区	1クール:1月20・27 日、2月3・10・17・24 日、3月3・10・24日	2. 継続	ポジティブディプリン	叩かない・怒鳴らない子育てスキルの習得		東部子ども家庭支援セ ンター	03-5980-5275
東京都	豊島区	【東部】第1回:9月 2・9・16・23・30日、 10月7日、11月18日 第2回:11月12・19・ 26日、12月3・10・17 日、1月25日 【西部】10月2・9・ 16・23・30日、11月6 日	2. 継続	ノーバディズパーフェクト～完璧な親なんていない～ 2歳未満のお子さんを育てている母親を対象	育児不安の解消と育児スキル向上	実施後のアンケート結果からは、参加後、保護者の自己肯定観・仲間づくり・子育てへの安心感など、アンケート結果からは概ね肯定的な受け止めが多くなっている。	・東部子ども家庭支援セ ンター ・西部子ども家庭支援セ ンター	03-5980-5275 03-5966-3131
東京都	豊島区	10月7・14日、11月 4・18日、12月2・9 日、1月6・20日	2. 継続	ペアレントトレーニング 子育ての難しさに自信を無くしている父母	子育てが楽になる手立てを学ぶ		西部子ども家庭支援セ ンター	03-5966-3131
東京都	北区	11月1日	2. 継続	東京都北区広報誌において、児童虐待防止に関する区の取り組みを紹介			子ども未来部子ども家庭 支援センター	03-3914-9565
東京都	荒川区	10月21日	2. 継続	区広報誌で児童虐待防止に関する区の施策を紹介する(第1面)。	広く区民に、児童虐待防止への理解を求めるとともに、相談窓口を周知する。	特になし。	荒川区子ども家庭総合 センター管理係	03-3802-3765

東京都	板橋区	10月24日	2. 継続	区が発行する広報誌に11月の児童虐待防止月間に向けて記事掲載する。	区民の児童虐待防止への理解を深めてもらうため。		子ども家庭支援センター	03-3579-2656
東京都	練馬区	10月31日～11月30日	2. 継続	ねりま区報・教育だより・区HP・Twitter・チラシや庁内の装飾(オレンジリボ運動)・パネル展示により、集中的に広報啓発活動を実施。	区民および関係機関に対し、集中的に広報啓発活動を行うことにより児童虐待防止の取組促進を図る。	特になし	こども家庭部練馬子ども家庭支援センター地域連携係	03-3993-8155
東京都	葛飾区	通年	1. 新規	所内にて、児童虐待防止についてのポスターを掲示。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	7月下旬以降	1. 新規	厚生労働省で作成した「体罰等によらない子育てのために」のポスターを、所内に掲示。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	9月中旬以降～11月上旬	2. 継続	東京都との共催事業である「子育て講演会&養育家庭体験発表会」開催のポスター及びチラシを配布。所内にて、ポスターを掲示。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	10月1日～11月2日	2. 継続	かつしかインフォメーションFM放送にて、東京都との共催事業である「子育て講演会&養育家庭体験発表会」開催の周知。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	10月上旬以降	2. 継続	葛飾区公式サイトにて、東京都との共催事業である「子育て講演会&養育家庭体験発表会」開催記事を掲載。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	10月15日	2. 継続	区の広報誌にて、東京都との共催事業である「子育て講演会&養育家庭体験発表会」開催記事を掲載。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	10月中旬以降	2. 継続	葛飾区公式フェイスブック及びツイッターにて、東京都との共催事業である「子育て講演会&養育家庭体験発表会」開催記事を投稿。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	葛飾区	10月25日	2. 継続	区の広報誌にて、児童虐待防止に関する啓発記事を掲載。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	江戸川区	11月1日	2. 継続	区広報にて、児童虐待防止の標語、体罰防止、児童虐待相談窓口の周知を実施。	区の広報誌のため、区民に周知しやすい	特になし	子ども家庭部相談課総合相談係	03-5678-1810
東京都	八王子市	11月1日	2. 継続	「広報はちおうじ」に児童虐待防止推進月間の取り組みを紹介	児童虐待防止推進月間の市民への周知	全戸配布(発行部数:約28万3千部/月)	子ども家庭支援センター	042-656-8225
東京都	立川市	43049	2. 継続	市報にて児童虐待防止推進月間の啓発記事を掲載する	市民に対し全戸配布される市報により、広く児童虐待防止の意識啓発を図る目的で毎年実施している。	通告件数の増加といった数字に表れているわけではないが、全世帯の目に触れることの意義は大きいと考えている。	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	立川市	11月	2. 継続	JR立川駅南口アピアビジョンで啓発メッセージを文字放送する	全国キャンペーンの標語を駅南側の商業建物壁面に設置された大型ビジョンを活用して広く通行する市民等に向けて啓発を行う。平成29年度から実施。	直接声が寄せられることはないが、交通の要所で商業施設の集積した環境を活かした取り組みであると考える	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	立川市	11月	2. 継続	立川駅南北の駅前連絡掲示板に啓発メッセージを文字放送する	4と同様の取組。JR立川駅の北口と南口を結ぶ南北通路に設置されている連絡掲示板の文字放送を活用し、通行する市民等へ啓発を行う。平成29年度から実施。	直接声が寄せられることはないが、交通の要所で商業施設の集積した環境を活かした取り組みであると考える	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	立川市	11月	2. 継続	生活安全課の青色パトロール車により啓発テープを市内を巡回して流す	4、5の取組は立川駅周辺スポットでの取組であるのに、職員が青色パトロール車を使用する際に、当該年度の標語を録音したテープを流すことで市内全域に向けた啓発活動を毎年実施している。	特に反響があるという事はないが、市内を巡回して標語を伝えることは意識啓発に一定の役割があると考えている。	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	立川市	11月	2. 継続	本庁舎や子ども未来センターのロビーにおいて東京OSEKKAI計画や体罰×(バツ)のPRムービーを放映する	東京都から啓発DVDが配布されたことを契機に、本庁舎と子ども未来センターのロビーにある広報用の大型テレビを活用し、来庁、来館者に向けてDVDを放映することで啓発を行う。	特になし、啓発動画を見て連絡いただいた方がいらっしゃると考えている。	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	立川市	11月	2. 継続	本庁舎、市内連絡所、健康推進課、地域学習館、市内小中学校、保育園、社会福祉協議会等で啓発ポスターを掲示する	例年国や東京都から提供される啓発ポスターを市内各所に掲示を依頼し、来訪者の目に触れることでの啓発活動を実施。	特になし、啓発ポスターを見て連絡いただいた方がいらっしゃると考えている。	子ども家庭部子ども家庭支援センター子ども家庭相談係	042-528-6871
東京都	青梅市	11月1日	2. 継続	市の広報誌に児童虐待防止月間の記事を掲載			子ども家庭部子ども家庭支援課	0428-22-1111内線2391
東京都	府中市	11月	2. 継続	総合窓口課の案内ディスプレイに児童虐待防止普及啓発広告を掲載	児童虐待防止推進月間の周知のため、総合窓口課の案内ディスプレイに行政情報として広告を掲載している。	案内ディスプレイは、総合窓口課を利用する市民の目に付きやすく、児童虐待防止推進月間の周知につながると考えられる。	子ども家庭部子ども家庭支援課子ども家庭支援センター	042-354-8700
東京都	府中市	11月	1. 新規	くるる(府中駅前商業施設)の街頭ビジョンに児童虐待防止普及啓発広告を掲載	児童虐待防止推進月間の周知のため、街頭ビジョンに広告を掲載する。	街頭ビジョンは、街頭往来者の目に付きやすく、児童虐待防止推進月間の周知につながると考えられる。	子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-354-8700
東京都	府中市	11月	1. 新規	市広報誌、市役所ホームページに児童虐待防止月間に関する記事を掲載	児童虐待防止推進月間の周知のため、市広報誌、市役所ホームページに記事を掲載する。	市広報誌や市役所ホームページを閲覧する市民が記事を目にすることで、児童虐待防止推進月間の周知につながると考えられる。	子ども家庭部子ども家庭支援課子ども家庭支援センター	042-354-8700
東京都	昭島市	11月	2. 継続	市広報誌に児童虐待防止・早期発見の周知・啓発等掲載	市民に対し児童虐待防止を広く啓発する		子ども家庭部子ども育成課	042-543-9046
東京都	昭島市	11月20日	2. 継続	虐待防止講演会	市民に対し児童虐待防止を広く啓発する		子ども家庭部子ども育成課	042-543-9046
東京都	調布市	4月20日	1. 新規	市報(4月20日号予定)・ホームページで、児童虐待及びDVの相談窓口の案内記事を掲載。新型コロナウイルスによるステイホームに対応して実施したもの。	児童虐待防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課子ども政策係	042-481-7105
東京都	調布市	10月20日	2. 継続	市報(10月20日号予定)・ホームページに「11月は児童虐待防止推進月間」の記事とともに相談窓口を掲載する。	児童虐待防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課子ども政策係	042-481-7105
東京都	調布市	通年	2. 継続	市報の欄外に、児童虐待の通報・相談窓口として子ども家庭支援センターすこやか虐待防止ホットライン(フリーダイヤル)を掲載。	児童虐待防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課子ども政策係	042-481-7105
東京都	調布市	10月下旬～11月上旬	2. 継続	CATVの市情報番組「テレビ広報ちゆうふ」で、虐待の種類、通告制度、相談窓口など、児童虐待防止の啓発と児童虐待防止推進月間の関連取組を放送する。(放送日未定)	児童虐待防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課子ども政策係	042-481-7105
東京都	町田市	11月1日	2. 継続	市広報にて児童虐待防止に関する記事を掲載予定	児童虐待防止の啓発と機運醸成	特になし	子ども生活部子ども家庭支援センター	042-724-4419
東京都	小平市	11月5日	2. 継続	11月5日号市報 11月は児童虐待防止推進月間という特集記事を掲載	市民に啓発を促すため	特になし	子育て支援課子ども家庭支援センター担当	042-346-9815
東京都	日野市	11月	2. 継続	広報ひの11月1日号に児童虐待防止推進にかかる記事を掲載	市民に対し児童虐待防止啓発を実施		子ども家庭支援センター	042-599-6670
東京都	東村山市	10月29日	2. 継続	市民を対象とした子育てをテーマの講演会を開催	目的:子育て世代に「体罰等によらない子育て」を普及させるため。		子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-393-5111
東京都	東村山市	11月1日	2. 継続	市報において児童虐待防止推進月間を紹介	目的:周知や啓発を行う。		子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-393-5111
東京都	東村山市	11月1日～11月30日	2. 継続	庁内放送において児童虐待防止推進月間を紹介	目的:周知や啓発を行う。		子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-393-5111
東京都	東村山市	11月11日～11月30日	1. 新規	市民と関係機関それぞれに向けて、児童虐待防止について動画配信する。	経緯:新型コロナウイルス感染症防止の観点から、対面での周知・啓発を避けるため。		子ども家庭部子ども家庭支援センター	042-393-5111
東京都	国分寺市	1月	2. 継続	国分寺市子どもいじめ虐待防止条例に基づく市民講演会に代わり、ジェイコムの放送にて小中学生への啓発を行う。	国分寺市子どもいじめ虐待防止条例に基づき、市民講演会を開催。コロナに伴い講演会は中止し、代替案を検討。	アンケート結果より「内容がとてわかりやすくゲームにはまっている人にはとてもいい啓発内容と思いました。」	子ども家庭部子育て相談室	042-572-8138
東京都	国立市	11月	2. 継続	11月5日発行の市報一面に掲載			子ども家庭支援センター	042-573-0192
東京都	福生市	5月	1. 新規	子ども家庭支援センター(子育てや虐待の窓口)について情報メールを配信			子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	福生市	6月	1. 新規	市広報へ子ども家庭支援センター(子育てや虐待の窓口)について掲載			子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	福生市	7月	1. 新規	市広報へ子ども家庭支援センター(子育てや虐待の窓口)について掲載			子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	福生市	8月	1. 新規	「体罰等によらない子育て」について市広報及びHPに掲載			子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	福生市	11月	2. 継続	市広報、HP、コミュニティビジョンへ児童虐待防止推進月間について掲載			子ども家庭部子ども家庭支援課	042-539-2555
東京都	東大和市	令和2年10月15日	2. 継続	市報・公式ホームページ掲載			子育て支援部子育て支援課子ども家庭支援センター	042-565-3651

東京都	多摩市	10月20日	2. 継続	市広報紙1面へ児童虐待防止に関する特集記事の掲載	児童虐待について市民に周知するとともに、児童虐待を防止するために理解協力をしてもらいたいことを、対象(地域、子ども、保護者)ごとに伝える。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	10月～11月	2. 継続	市内公共施設が発行する刊行物へ児童虐待防止に関する特集記事掲載	児童虐待について市民に周知するとともに、児童虐待を防止するために理解協力をしてもらいたいことを、対象(地域、子ども、保護者)ごとに伝える。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	通年	2. 継続	市公式ホームページへの児童虐待防止に関する特集記事を掲載	児童虐待について市民に周知するとともに、児童虐待を防止するために理解協力をしてもらいたいことを、対象(地域、子ども、保護者)ごとに伝える。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	多摩市	未定	1. 新規	児童虐待防止に関する内容のYouTube動画を作成し、市の公式チャンネルより掲載	新型コロナウイルス感染症のため、不要な外出を控えている家庭も多い中で、多くの市民に児童虐待防止について関心を持ってもらうため、自宅でも視聴ができるYouTube動画を作成する。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	稲城市	11月	2. 継続	市広報誌での虐待防止推進月間について周知			子育て支援課子ども家庭支援センター係	042-378-6366
東京都	羽村市	11月前半あたりの1週間	2. 継続	都で作成した児童虐待防止DVDの放映	児童虐待防止推進月間の周知		子ども家庭部子育て相談課子ども家庭支援センター係	042-578-2882
東京都	羽村市	11月1日	2. 継続	市広報に児童虐待防止推進月間の記事掲載	児童虐待防止推進月間の周知、児童虐待の未然防止		子ども家庭部子育て相談課子ども家庭支援センター係	042-578-2882
東京都	あきる野市	11月	2. 継続	市広報紙・市ホームページにおいて、11月が児童虐待防止推進月間であることを周知する記事を掲載	月間に合わせた活動として、児童虐待防止に関する周知・啓発を目的とした記事を掲載し配布する。		子ども家庭部子ども家庭支援センター相談係	042-550-3313
東京都	あきる野市	通年	2. 継続	市広報紙・市ホームページにおいて、虐待通告制度(189)に関する周知を図る記事を掲載	児童虐待の防止・早期発見のため、通告制度や通告先の周知等を行う。		子ども家庭部子ども家庭支援センター相談係	042-550-3313
東京都	あきる野市	通年	2. 継続	市庁舎内の市民課窓口番号案内システムにおいて、行政情報として、虐待通告制度に関する周知を図る情報を掲載	児童虐待の防止・早期発見のため、通告制度や通告先の周知等を行う。		子ども家庭部子ども家庭支援センター相談係	042-550-3313
東京都	西東京市	6月10日	1. 新規	市ホームページ上に体罰によらないしつけの方法「子育てに不安やストレスを抱える方へ」を掲載し、①体罰によらないしつけの方法、②子どもを健やかに育てるために 西東京市版、③体罰等によらない子育てを上げよう! 西東京版、④乳児期のしつけについて、の資料をダウンロードできるように周知。	2019年4月から子供を虐待から守るため、保護者による体罰や暴言が禁止されたことを周知し、体罰によらないしつけの方法「子育てに不安やストレスを抱える方へ」をホームページ上に掲載。		子育て支援課子ども家庭支援センター	042-425-3303
東京都	西東京市	11月中	2. 継続	市ホームページ・市報による児童虐待防止月間の周知	児童虐待防止月間に広く市民に広報・啓発を行う。		子育て支援課子ども家庭支援センター	042-425-3303
東京都	西東京市	通年	2. 継続	市ホームページで児童虐待相談の窓口や児童虐待防止の啓発を掲載	児童虐待防止のために広く市民に広報・啓発を行う。		子育て支援課子ども家庭支援センター	042-425-3303
東京都	瑞穂町	11月中	2. 継続	町広報、ホームページ、CATV等で周知	例年児童虐待防止について、広く周知を行い虐待の未然防止につとめている。	特になし	福祉部子育て応援課子ども家庭支援センター係	042-568-0051
東京都	日の出町	11月1日	2. 継続	町広報誌において、児童虐待防止に関する通告先の案内などの情報を掲載。			日の出町子育て福祉課子育て支援係	042-597-0511 (内線297) 042-597-6177 (直通)
東京都	日の出町	11月1日	2. 継続	日の出町子ども家庭支援センターで発行している「子ども家庭支援センターだより」号外を発行し、児童虐待防止推進月間のPRをするとともに、児童虐待通告、予防をテーマにした記事を掲載。			日の出町子育て福祉課子育て支援係	042-597-0511 (内線297) 042-597-6177 (直通)
東京都	檜原村	11月	2. 継続	広報誌にて児童虐待防止推進月間を周知する。			檜原村子ども家庭支援センター	042-598-3122
東京都	奥多摩町	11月	2. 継続	町広報にて児童虐待防止について啓発	例年実施 児童虐待防止について啓発		福祉保健課	0428-85-2611
東京都	大島町	11月1日	2. 継続	町広報誌にて、児童虐待防止推進月間について紹介。			子ども家庭支援センター	04992-2-2381
東京都	八丈町	11月2日～11月30日	2. 継続	町の広報誌で児童虐待防止月間の記事を掲載し周知、啓発活動。			八丈町子ども家庭支援センター	04996-2-4300

○ 民間企業等とのタイアップ

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
東京都	-	11月	2. 継続	味の素スタジアム JリーグFC東京と共同でキャンペーン活動 オールラビジョン動画放映			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	-	未定	2. 継続	社会人アメフトXリーグ決勝 東京ドームオールラビジョンにて児童虐待防止PR動画配信			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	-	11月	2. 継続	企業とのワイドコラボ協定を活用したポスター掲示等の普及啓発活動			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	千代田区	11月1日～12月10日	1. 新規	区内を走るバス(地域福祉交通「風ぐるま」・日の丸自動車興業(株)「丸の内シャトルバス」について、つり革広告やポスター掲示による啓発等を実施	虐待事案を重く受け止めた路線バス事業者との協議により、児童虐待防止を啓発するため、つり革広告やポスター掲示による啓発を実施。	・事業者と連携し、予算枠を執らずに実施できた。	児童・家庭支援センター子ども家庭相談係	03-5298-5521
東京都	港区	11月	1. 新規	「STOP児童虐待!東京タワーオレンジリボン大作戦」	民間団体との共催で、11月14日18:9(いちはやく)に東京タワーをオレンジリボンカラーにライトアップします。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090
東京都	大田区	5月～	1. 新規	啓発グッズ配付(コンビニ等のレジ前に設置依頼)	新型コロナの流行下での有効な啓発		子ども家庭支援センター	03-6410-8551
東京都	江戸川区	11月10日	1. 新規	民間機関紙とタイアップし、児童虐待防止を周知	子育て情報の掲載されている機関紙のため、子育て世代に周知しやすい	特になし	子ども家庭部相談課総合相談係	03-5678-1810
東京都	調布市	通年	2. 継続	「いじめや虐待のないまち」宣言PRとして、市内の小学生が「みんな なかよし」をテーマに描いた絵をシール加工し、市内を走るごみ収集車に貼る。夏休みに絵を募集し、シール加工した後、毎年11月に貼り替えを行う。	「いじめや虐待のないまち」宣言のPR	自分の描いた絵を貼ったごみ収集車が町中を走るため、児童や保護者に好評を得ている。	子ども生活部子ども政策課子ども政策係	042-481-7105

○ その他

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
東京都	-	11月	2. 継続	都庁舎パネル展示(NPO法人主催)			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	-	11月	2. 継続	都庁舎オレンジ色ライトアップ			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	-	11月	2. 継続	要体協代表者会議における周知			福祉保健局少子社会対策部	03-5320-4090
東京都	練馬区	11月16日・20日	2. 継続	区内主要駅で虐待防止月間の呼びかけを行う。	虐待防止啓発のため	特になし	児童相談センター相談援助課第一担当	03-5937-2311
東京都	千代田区	11月1日～12月10日	1. 新規	区役所入り口や虐待に係る4課にオレンジパープルリボンツリーを設置し周知を図る。	オレンジパープルリボンツリーを期間に庁舎メインロビーや関連4課に設置しパネル等で啓発する		児童・家庭支援センター子ども家庭相談係	03-5298-5521
東京都	港区	5月	1. 新規	相談窓口の周知チラシを児童手当現況届に同封	新型コロナウイルス感染拡大で、外出自粛期間中に相談窓口を子育て世帯に周知するために配布しました。	チラシを見て電話をしましたという相談者が何人かいました。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	7月	2. 継続	「みなと子ども相談ねっと」の案内リーフレットを配布	小中学生に夏休み中の相談窓口を周知することで、いじめ・児童虐待防止の啓発を行いました。	配布後、小学生からのねっと相談や、電話相談が若干増えました。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	8月	2. 継続	子どもむけ人権擁護のリーフレットを配布	いじめ・児童虐待防止の啓発として、子どもの権利条約に関するリーフレットを小中学生に配布しました。	配布後には、リーフレットをみて電話したという子どもからの相談がありました。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	8月	1. 新規	「港区おとなの子育て相談ねっと」の案内リーフレットを子育て家庭に配布	9月1日からの新規相談事業を周知することで、児童虐待の未然防止の啓発をしました。	リーフレットを多方面に配布したので、少しずつねっと相談の件数が増えています。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090

東京都	港区	10月	2. 継続	児童虐待防止の区民向けリーフレット	11月の児童虐待防止推進月間の前に、区民向けの児童虐待防止リーフレットを配布し、啓発を行います。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090
東京都	港区	11月	1. 新規	赤坂地区総合支所をオレンジカラーにライトアップ	児童虐待防止推進月間の間、ライトアップに対応している総合支所(一か所)をオレンジカラーにライトアップして、啓発を行います。	これから実施するので、特にありません。	子ども家庭支援部子ども家庭支援センター地域連携担当	03-6400-0090
東京都	新宿区	10月27日～11月29日	1. 新規	区内施設において、養育家庭(里親)の方の体験談、里親制度解説のパネルや関連図書の展示	養育家庭(里親)について広く区民等に周知し、養育家庭(里親)を増加させていくため。	特になし	子ども総合センター子ども家庭支援課総合相談係	03-3232-0674
東京都	台東区	11月中	2. 継続	関係機関・民生委員等・学校・区役所職員のダブルリボンパッチの着用(周知) ※ダブルリボン: オレンジとパープルのダブルリボン	男女平等参画課と共同でダブルリボンパッチを作成。11月中の着用をお願いしている。		区民部子ども家庭支援センター	03-5824-2571
東京都	台東区	11月16日	1. 新規	講演会「養育家庭(里親)体験発表会「地域が子どものおうちになる」他(台東区役所10階:13時30分～)	養育家庭普及啓発を区民の方、関係者に効果的に行えるよう実施している。		区民部子ども家庭支援センター	03-5824-2571
東京都	江東区	11月	2. 継続	江東区と江戸川区に架かる橋(ふれあい橋)をオレンジ色にライトアップしている。	平成29年度より、区民に児童虐待防止の周知として、オレンジ色にライトアップしている。	・特になし	こども未来部こども家庭支援課養育支援係	03-3647-4408
東京都	目黒区	11月2日～11月6日	2. 継続	庁舎内において、児童虐待防止に関するパネル展の開催、講演会等開催チラシ及び啓発グッズを配布	庁舎入口付近に児童虐待防止のパネルを掲示し、来庁する区民に広く周知する。		子育て支援部子ども家庭支援センター	03-5722-6836
東京都	世田谷区	通年	2. 継続	区のホームページへ、児童虐待、相談・通告先等に関する内容の掲載	令和2年4月からの区児童相談所開設周知を含めた、区の児童虐待通告窓口を周知するため。	—	子ども・若者部児童相談支援課	03-6304-7731
東京都	世田谷区	通年	2. 継続	職員のオレンジリボン着用	児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを着用することにより、職員一人ひとりの児童虐待問題に対する関心・理解を向上させるため。	—	子ども・若者部児童相談支援課	03-6304-7731
東京都	世田谷区	通年	1. 新規	児童虐待防止普及啓発動画の作成	11月に実施予定であった児童虐待防止講演会の代替として実施。児童虐待防止推進及び区の児童虐待通告窓口を周知するために実施。	—	子ども・若者部児童相談支援課	03-6304-7731
東京都	豊島区	10月23日～11月27日	2. 継続	中央図書館に児童虐待関連図書の特設展示コーナーを設置	児童虐待防止の啓発目的		子ども家庭部子育て支援課子ども権利G	03-6858-2302
東京都	荒川区	11月1日～8日	1. 新規	あらかわ遊園(区営遊園地)の観覧車をオレンジ色にライトアップする。	広く区民に、児童虐待防止を啓発する。	—	荒川区子ども家庭総合センター管理係	03-3802-3765
東京都	足立区	11月9日～11月13日	2. 継続	「養育家庭制度PRパネル展示」区役所本庁舎にて、養育家庭制度PRパネル展示を実施する。			子ども家庭部こども支援センターげんきこども家庭支援課	03-3852-2863
東京都	足立区	11月14日(予定)	2. 継続	「養育家庭体験発表会」こども支援センターげんきにて、養育家庭による体験発表会を実施する。			子ども家庭部こども支援センターげんきこども家庭支援課	03-3852-2863
東京都	足立区	9月17日～10月22日(毎週木曜日)	2. 継続	「イライラしない子育て講座(実践編)」3歳～小学生までのお子さんの保護者を対象に、適切な叱り方・ほめ方を通してコミュニケーションのとおり方を学ぶことを目的とする。			子ども家庭部こども支援センターげんきこども家庭支援課	03-3852-2863
東京都	足立区	11月5日～12月10日(毎週木曜日)	2. 継続	「完璧な親なんていない講座」1.2歳のお子さんの保護者を対象に、育児に対する不安解消と、育児スキルを高めることを目的とする。			子ども家庭部こども支援センターげんきこども家庭支援課	03-3852-2863
東京都	足立区	4月28日～	1. 新規	区HPにて、「愛の鞭ゼロ作戦」のページを開設し、体罰によらない育児を啓発。	コロナ禍における休校等のなか、保護者の育児ストレスの蓄積が体罰につながるよう啓発した。		子ども家庭部こども支援センターげんきこども家庭支援課	03-3852-2863
東京都	足立区	6月17日～	1. 新規	区HPにて、「養育家庭(里親)制度紹介」のページを開設し、里親制度の周知を図る。			子ども家庭部こども支援センターげんきこども家庭支援課	03-3852-2863
東京都	足立区	11月	1. 新規	区Twitter・Facebookにて、児童虐待防止や養育家庭体験発表会の広報・啓発を予定。			子ども家庭部こども支援センターげんきこども家庭支援課	03-3852-2863
東京都	葛飾区	通年	2. 継続	「妊娠・出産どうしようコール」の設置(通年の電話相談)	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課母子保健係	03-3602-1387
東京都	葛飾区	通年	1. 新規	現場作業員が作業する際に、厚生労働省で作成した「体罰等によらない子育てのために」のリーフレットを近隣住民へ配布。	特になし	特になし	子育て支援部子ども家庭支援課子ども家庭係	03-3602-1386
東京都	江戸川区	11月1日～15日	2. 継続	区内施設をオレンジ色にライトアップ	タワーホール船堀は、高さが115mある建物で、区民のシンボルになっているため、児童虐待防止を周知しやすい	特になし	子ども家庭部相談課総合相談係	03-5678-1810
東京都	八王子市	11月1日～11月30日	2. 継続	八王子市全職員及び市内小中学校の教職員がオレンジリボンを着用	児童虐待防止推進月間の市民への周知		子ども家庭支援センター	042-656-8225
東京都	三鷹市	令和2年11月2日(月)～11月6日(金)まで	1. 新規	児童虐待防止推進の為にパネル展を行う。テーマ:「子育て応援」開催場所:三鷹市役所本庁舎1階市民ホール	昨年度までは駅頭キャンペーンにて啓発グッズ等の配布や、講演会を実施していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、パネル展を行い虐待防止を広報していく。	特になし	三鷹市子ども家庭支援センターりぼん	0422-40-5925
東京都	府中市	通年	2. 継続	市役所本庁舎西側玄関上に懸垂幕を掲示	来庁市民及び街道往來者に虐待防止推進について普及啓発をおこなうため、通年で懸垂幕を掲示している。	懸垂幕は、街頭往來者の目に付きやすく、児童虐待防止推進月間の周知につながると考えられる。	子ども家庭部子ども家庭支援課子ども家庭支援センター	042-354-8700
東京都	調布市	11月	2. 継続	各部署にオレンジリボンを配布し、職員が身に付けて児童虐待防止推進月間のPRを行う。	児童虐待防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課子ども政策係	042-481-7105
東京都	調布市	11月	2. 継続	関連性の高い児童虐待とDVを一体的に啓発するため、駅前広場シンボルツリーをパープル・オレンジ色に交互にライトアップする。	児童虐待防止、DV防止の周知、啓発	特になし	子ども生活部子ども政策課子ども政策係(男女共同参画推進課主管)	042-481-7105
東京都	町田市	11月(調整中)	2. 継続	市庁舎のライトアップ(オレンジ色)を実施予定	児童虐待防止の啓発と機運醸成	特になし	子ども生活部子ども家庭支援センター	042-724-4419
東京都	町田市	学校と調整がつき次第随時	2. 継続	市内小学校(複数校)6年生を対象に、DVDを活用した児童虐待防止啓発活動を実施予定	子ども自身が児童虐待について理解を深め、身近なところに相談場所はあることを知り、将来大人になったときに「子どもを守る」という思いをもってもらおう	参加した子どもへのアンケートでは、講座内容について「よくわかった・だいたいわかった」との回答が9割以上を占めています。	子ども生活部子ども家庭支援センター	042-724-4419
東京都	小平市	11月中	2. 継続	本庁舎デジタルサイネージに「児童虐待防止月間」に関する記事を60秒にして掲載	市民に啓発を促すため	特になし	子育て支援課子ども家庭支援センター担当	042-346-9815
東京都	小平市	10月～11月	1. 新規	本庁舎デジタルサイネージに「体罰等によらない子育て」に関する記事を60秒にして掲載	市民に啓発を促すため	特になし	子育て支援課子ども家庭支援センター担当	042-346-9815
東京都	国分寺市	10月	2. 継続	「子ども相談専用電話」について、小中学校の放送で案内	従来はカード配布直後に校内放送で案内していた。	先生より「あーある、へーなどと言いがらきんと聞いていた。」	子ども家庭部子育て相談室	042-572-8138
東京都	国立市	11月	2. 継続	「ダブルリボンキャンペーン」: 「女性に対する暴力をなくす運動」(パープルリボン)と「児童虐待防止月間」(オレンジリボン)の2つのシンボルマークを組み合わせた事業を行う。	DVと児童虐待が密接に関連した案件が近年多くなっているため		子ども家庭支援センター	042-573-0192
東京都	国立市	11/12～11/18	1. 新規	JR国立駅前、旧国立駅舎のライトアップおよび旧駅舎内でのパネル展示	国立市のシンボリックな存在である旧国立駅舎において、期間中、パープルとオレンジのライトアップを日替わりで行う。		子ども家庭支援センター	042-573-0192
東京都	東大和市	通年	2. 継続	子ども家庭支援センター玄関に大型オレンジリボンを掲出			子育て支援部子育て支援課子ども家庭支援センター	042-565-3651
東京都	東大和市	令和2年11月1日～11月30日	2. 継続	市全職員でオレンジリボンを着用			子育て支援部子育て支援課子ども家庭支援センター	042-565-3651
東京都	東久留米市	10月から11月	1. 新規	保育園等関係機関への訪問・懇談	虐待通告の協力要請を行う。		児童青少年課子ども家庭支援センター	042-471-0920
東京都	多摩市	通年	2. 継続	市の子育て関連部署を中心に、職員がオレンジリボン名札ストラップ(東京都作成)を着用	児童虐待防止について多くの市民に関心を持ってもらう。		多摩市子ども家庭支援センター	042-355-3833
東京都	羽村市	通年	2. 継続	子ども家庭部職員によるオレンジリボン着用	児童虐待未然防止への意識掲揚		子ども家庭部子育て相談課子ども家庭支援センター係	042-578-2882
東京都	あきる野市	11月	2. 継続	市内図書館において、11月が児童虐待防止推進月間であることを周知するPRコーナーを設置	月間に合わせた活動として、児童虐待防止に関する周知・啓発を目的としたPRコーナーを設置する。		子ども家庭部子ども家庭支援センター相談係	042-550-3313
東京都	あきる野市	11月	1. 新規	市役所1階において、11月が児童虐待防止推進月間であることを周知するPRコーナーを設置	月間に合わせた活動として、児童虐待防止に関する周知・啓発を目的としたPRコーナーを設置する。		子ども家庭部子ども家庭支援センター相談係	042-550-3313
東京都	瑞穂町	11月中	1. 新規	庁舎内にオレンジリボンののぼり旗を設置	児童虐待防止推進月間中、人の出入りの多い庁舎内にオレンジリボンののぼり旗を設置し、児童虐待防止を啓発するため。	特になし	福祉部子育て応援課子ども家庭支援センター係	042-568-0051